サステナビリティ・ファイナンスの概要について

2023年9月

阪神高速

先進の道路サービスへ

当社概要と企業理念

阪神高速
先進の道路サービスへ

社名	阪神高速道路株式会社 Hanshin　Expressway　Company　Limited
本社	大阪市北区中之島３－２－４
設立年月日	2005年（平成17年）10月1日
社員数	約７００名
資本金	１００億円（＋資本準備金 １００億円）
目的	高速道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を効率的に行うこと等により、道路交通の円滑化を図り、もって国民経済の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的とする
事業内容	① 高速道路の建設・管理、休憩所等の運営など ② 国、地方公共団体等からの委託による道路の建設・管理・調査など ③ その他の事業 （駐車場事業、不動産事業などの関連事業）
営業路線	２５８．１km
建設中路線	２６．５km

阪神高速グループ理念

先進の道路サービスへ

阪神高速は、安全・安心・快適なネットワークを通じて
お客さまの満足を実現し、関西のくらしや経済の発展に貢献します。

経営方針

阪神高速は、お客さまや地域とのコミュニケーションを大切にします。
阪神高速は、公正で透明な経営を維持し、健全な発展を目指します。
阪神高速は、社会の期待に応えるため迅速・的確・積極的に行動します。

サステナビリティの実現に向けて

阪神高速
先進の道路サービスへ

価値創造プロセス

近年、環境・社会課題がグローバルに拡大し、国や自治体だけでなく、企業、個人など社会全体で課題を解決し、持続可能な社会を実現することがより一層求められています。
阪神高速グループは、社会情勢の変化や社会の潮流を敏感に捉え、社会を構成する一員として「サステナビリティ」を共通の価値観と認識し、グループ理念のもと、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、持続的な企業価値の向上を目指します。

阪神高速グループがとらえる社会課題・情勢

- E 環境
  - 気候変動対策・脱炭素化に向けた社会的要請
- S 社会
  - 激甚化・頻発化する自然災害
  - ウィズコロナ ポストコロナ
  - 構造物の老朽化
  - ネットワーク機能強化への期待
  - 交通安全意識の高まり
  - DX推進の必要性 Society 5.0の提起
  - 大阪・関西万博の開催
  - 働き方改革
  - 人権・多様性の尊重
- G 企業統治
  - ステークホルダーの信頼向上

私たちのCSR
社会の要請や期待に応える対応力を柔軟に発揮

ステークホルダーとのコミュニケーション
- 高速道路ご利用のお客さま
- 地域・社会
- 取引先
- 株主
- 投資家
- グループ社員

世界の共通言語
羅針盤として関連付け

社会との共存

阪神高速グループの成長

企業評価の視点として重視
E S G

阪神高速グループの事業活動
- 企業存続の基礎活動の徹底（コンプライアンス、リスクマネジメント、情報セキュリティ等）
- 高速道路事業の深化・進化
- 関連事業のさらなる展開
- 積極的な社会貢献

阪神高速グループの経営資源
- 非財務資源（ヒト・モノ・ノウハウ）
- 財務資源

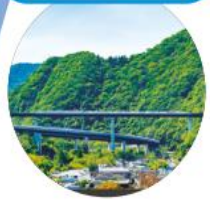
連動して実行

サステナビリティ重要課題（マテリアリティ） P.16
- E 地球環境の保全 P.17
- S サステナブルなまちづくり P.25
- S G 事業活動を支える経営基盤の強化 P.41 P.53
- E S G 業務の変革や新たな価値の創造 P.49

グループ理念
「先進の道路サービスへ」の具現化

ビジョン2030
「6つのありたい姿」の実現
1. 最高の安全と安心を提供する阪神高速
2. もっと便利で快適なドライブライフを実現する阪神高速
3. 世界水準の卓越した都市高速道路技術で発展する阪神高速
4. お客さまや社会に満足をお届けする多彩なビジネスを展開する阪神高速
5. 関西の発展に貢献し、地域・社会から愛され信頼される阪神高速
6. 経営基盤を確立し、グループ社員がやりがいを実感できる阪神高速

持続可能な社会の実現



サステナビリティの実現

持続的な企業価値の向上

サステナビリティ・ファイナンス　フレームワーク概要①

阪神高速
先進の道路サービスへ

Point

当社の「インフラの老朽化対策」や「省エネルギー化によるCO_2排出量削減」等の高速道路事業が社会的・環境的課題解決に貢献する取組であり、ICMA（国際資本市場協会）が定めるソーシャルボンド原則・グリーンボンド原則・サステナビリティボンドガイドラインや環境省のグリーンボンドガイドライン及び金融庁のソーシャルボンドガイドラインの枠組み要素を考慮し、サステナビリティ・ファイナンス（※）・フレームワークを策定。本フレームワークの透明性を確保するために、第三者評価機関であるR&Iから外部評価を取得。

（※）社会的・環境的課題を解決する事業に充当することを目的とした資金調達手段

1 調達資金の使途

- サステナビリティ・ファイナンスで調達した資金は、社会的・環境的課題解決に向けた以下の道路建設等にかかるプロジェクトに充当

	社会的・環境的課題 （当社が直面し、解決すべき主要な社会的・環境的課題）	適格プロジェクト	プロジェクトの概要
ソーシャル	インフラの老朽化対策	高速道路の特定更新	●インフラの老朽化対策 ・安心と安全を未来に繋げるべくリニューアルプロジェクト（大規模更新・大規模修繕）の実施
ソーシャル	交通安全確保： 交通事故・誤進入件数の削減	高速道路の修繕・災害復旧	●交通事故ゼロ、交通安全の確保 ・逆走および誤進入防止対策 ・本線料金所機能移転
ソーシャル	災害発生時の機能維持： 自然災害への対応	高速道路の修繕・災害復旧	●災害発生時のリスク軽減と安全確保による機能維持 ・橋梁の耐震補強 ・地震、津波による大規模災害時の緊急交通路機能の確保
ソーシャル	渋滞対策： 渋滞による時間の損失削減	高速道路の新設・改築	●ミッシングリンク解消、リダンダンシーの確保等による関西都市構造の強靭化の実現 ・交通渋滞や沿道環境などの交通課題の緩和 ・国際コンテナ戦略港湾である阪神港の機能強化による物流の効率化
グリーン	気候変動から増加した短時間強雨等を主因とした災害の防止	排水性舗装 【グリーン適格分類名】 気候変動への適応	●災害対策 ・雨天時でも視認性の良い排水性舗装を施工することによる走行性の向上
グリーン	省エネルギー設備への投資によるCO_2排出量削減	道路照明のLED化 【グリーン適格分類名】 エネルギー効率	●省エネルギー化によるCO_2排出量削減 ・使用電力量削減に向けたLED照明への切り替え
グリーン	脱炭素化設備導入によるCO_2排出量削減	脱炭素化資材の導入 【グリーン適格分類名】 環境適応製品、環境に配慮した生産技術及びプロセス	●脱炭素化の推進によるCO_2排出量削減 ・低炭素材料や、CO_2を吸収・貯蔵した材料を構造物へ適用するための技術開発の推進

- 対象プロジェクトにおける具体的な路線名、工事内容等については独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（以下高速道路機構）との協定により決定されており、当社ウェブサイト等で確認可能

サステナビリティ・ファイナンス　フレームワーク概要②

阪神高速
先進の道路サービスへ

2 プロジェクトの評価と選定プロセス

高速道路の特定更新	高速道路の修繕・災害復旧	高速道路の新設・改築
● 「道路法等の一部を改正する法律（平成26年法律第53号）」が施行されたことを受け、2015年（平成27年）3月、日本高速道路保有・債務返済機構と締結する「大阪府道高速大阪池田線等に関する協定」に特定更新等工事を追加 ● これまで培ってきた技術力を活用して、道路構造物の長寿命化に向けた抜本的な対策を実施	● 平成26年7月に道路法施行規則が改正され、5年に1回の頻度で道路構造物に対する近接目視による点検を実施することを義務付け ● 当社でも当該点検を計画的、かつ確実に実施。また、この点検結果等を用いて構造物の健全度を診断し、維持・修繕等の措置を適切に実施。それらを記録・保存して、次回の点検や修繕の計画立案につなげることで、維持管理サイクルの着実な実施に努めています。	● 国土交通省は、整備計画決定にあたって「国土交通省所管公共事業の新規事業採択時評価実施要領」に基づき、新規高速道路整備事業に係る事業評価を実施 （1）投資効率等の前提条件の確認 （2）費用対便益の確認 （3）事業の影響・事業実施環境の把握について、都道府県・政令都市等に意見を聞いた上で、学識経験者等から構成される第三者委員会の意見を聴取し、事業採択の可否を判断

3 調達資金の管理

- 調達資金は、高速道路事業等会計規則や高速道路株式会社法に基づき道路管理事業やその他事業から区分された道路建設等事業に充当され、当社会計システムにて厳格に管理
- 充当状況は高速道路機構との協定に基づく収支予算明細にて開示
- 調達資金は、原則調達年度内に対象プロジェクトに充当されるが、未充当資金は社内規定に基づいて譲渡性預金または大口定期預金を基本とした安全性の高い金融資産に限定して運用

4 レポーティング

- 対象プロジェクトの進捗状況や資金充当状況は、当社及び高速道路機構のウェブサイトで公開。その他、当社業務全般や財務状況についても、サステナビリティレポートや有価証券報告書等を当社ウェブサイトで公開

サステナビリティ・ファイナンスによるSDGsへの貢献

阪神高速
先進の道路サービスへ

Point

サステナビリティ・ファイナンス　フレームワークに基づいた資金調達は、国連の提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」、日本政府のSDGs実施指針等にも合致

SDGs達成に向け、当社を取り巻く社会的・環境的課題及び各プロジェクトにおける具体的な取組を推進

	当社の取組
3 すべての人に健康と福祉を	■ 交通安全対策の推進 ■ 渋滞対策の推進 ■ 本線料金所撤去事業の推進による走行性の改善に伴う環境負荷の軽減
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	■ 道路照明のLED化をはじめとする省エネルギー設備導入
8 働きがいも経済成長も	■ 働き方改革の積極的推進 ■ 多様な働き方の実現（長時間労働の抑制、休暇取得の促進、ワークライフバランスの推進） ■ 広く地域の観光業を促進するための地域と連携した企画の推進
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	■ リニューアルプロジェクトの推進 ■ 大阪湾岸道路西伸部、淀川左岸線延伸部、淀川左岸線（2期）の着実な事業推進と新たなネットワーク構想の検討 ■ 予防保全の推進による高速道路の長寿命化 ■ 道路・交通分野における若手研究者の研究に対する助成制度 ■ 研究技術開発の推進、産官学連携による革新的技術開発（オープンイノベーション）
11 住み続けられるまちづくりを	■ 国道43号、阪神高速３号神戸線沿道の環境改善のため、環境ロードプライシングの利用促進 ■ 規制工事の集約化 ■ 渋滞対策の検討及び実施による、円滑な交通流の実現 ■ 総合防災訓練等による災害時対応力の向上促進、事業継続計画（ＢＣＰ）の策定・運用 ■ 震災資料保管庫の活用等を通じ、被災経験の伝承及び今後の防災対策に係る施策推進への寄与 ■ 中長期の視点での道路建設事業（大阪湾岸道路西伸部・淀川左岸線延伸部・淀川左岸線（2期））や特定更新等工事等の推進
12 つくる責任 つかう責任	■ 道路照明のLED化をはじめとする省エネルギー設備導入
13 気候変動に具体的な対策を	■ 災害発生時の機能維持(耐震補強、交通管制バックアップ、道路管理施設等の浸水対策、応急復旧資材の備蓄) ■ 自然災害時におけるお客さまの安全確保に向けた対応力強化 ■ ネットワーク整備により災害時の緊急輸送道路の利便性向上

【参考】レポーティング

阪神高速
先進の道路サービスへ

Point

当社事業に係る計画・実績について、事業計画や決算情報等を作成し当社ウェブサイトにて公開

サステナビリティ・ファイナンスに係る定期レポーティングとして、本フレームワークに基づくサステナビリティボンドまたはサステナビリティローンの調達額・資金の充当状況等を当社ウェブサイト等で公開

1 当社業務全般に係るレポーティング

- 高速道路の新設と改築、維持と修繕に加えて、防災や交通安全への対策、利便性の向上、災害発生時の対応、環境保全への取組等を阪神高速グループサステナビリティレポート等にて公開します。
  - 阪神高速グループビジョン2030　https://www.hanshin-exp.co.jp/company/kigyou/vision/index.html
  - 中期経営計画　https://www.hanshin-exp.co.jp/company/kigyou/keieikeikaku/index.html
  - 阪神高速グループサステナビリティレポート　https://www.hanshin-exp.co.jp/company/sustainability/pdf/sustainability_report_a3.pdf

2 財務状況に係るレポーティング

- 有価証券報告書、決算情報を当社ウェブサイトにて公表します。
  - 有価証券報告書・決算情報　https://www.hanshin-exp.co.jp/company/ir/

3 資金使途に係るレポーティング

- 資金の充当状況は、当社及び機構ウェブサイトの収支予算の明細等にて公開します。調達資金に係る債務は、対象プロジェクトにおいて完成した道路資産とともに機構に引き渡しされます。債務の引き渡し状況は、当社ウェブサイトにて公開します。
  - 当社の収支予算の明細（当社ウェブサイト内）　https://www.hanshin-exp.co.jp/company/kigyou/kyoka/index.html
  - 当社の収支予算の明細（高速道路機構ウェブサイト内）　https://www.jehdra.go.jp/syuusi35.html
  - 道路建設関係債務の状況　https://www.hanshin-exp.co.jp/company/files/saimunojyokyo.pdf

4 事業状況に係るレポーティング

- 高速道路の新設・改築に係る進捗状況や開通予定情報、修繕・特定更新等に係る進捗状況のアウトプット・アウトカム等を当社ウェブサイトにて公開します。下記一例以外にも、「淀川左岸線延伸部」や「大阪湾岸道路西伸部」等の情報を公開しています。
  - 開通予定区間　https://www.hanshin-exp.co.jp/company/torikumi/building/index.html
  - 大阪府道高速大阪池田線等に関する維持、修繕その他の管理の報告書（※資金使途に該当しない業務も含まれます）※各種施策によるアウトカム一覧も掲載
    https://www.hanshin-exp.co.jp/company/kigyou/kyoka/2009-0729-1436-4.html
  - 事業計画　https://www.hanshin-exp.co.jp/company/kigyou/plan/index.html